

首相ウクライナ入り

電撃訪問、公表せず
ゼレンスキー氏と会談へ

岸田文雄首相は21日、ウクライナを訪問した。政府関係者が明らかにした。首都キーウ（キエフ）でゼレンスキー大統領と会談する。首相の現地訪問は昨年2月のロシアによる侵攻開始後、初めて。安全保障を理由に事前公表しなかった。日本の首相が秘密裏に外国を訪問するのは極めて異例。日本を除く先進7カ国（G7）の首脳は既にキーウを訪れており、首相も議長を務める5月のG7首脳会議（広島サミット）前の訪問を目指していた。

サミットではG7が結束 国際社会に示したい考え。 け、追加支援が話題になり 際秩序の根幹を揺るがす」とロシアを厳しく非難。今年1月にはウクライナから訪問を要請され「諸般の状況も踏まえ検討したい」と語った。

して対ロシア制裁とウクラ ゼレンスキー氏との会談で そうだ。 首相は侵攻直後から「国

ただ、安全確保や情報管理が課題となり調整は難航。首相の渡航情報がロシア側に漏れれば攻撃対象とされる懸念が拭えないとして、外務省などの関係省庁が慎重に検討を重ねてきた。



20日、記者団の取材に応じる岸田首相＝ニュータリー（共同）

G7の英国、ドイツ、フランス、イタリア、カナダの各首脳は侵攻開始以降、相次いでキーウ入り。今年2月には米国のバイデン大統領も電撃訪問し、ゼレンスキー氏と会談した。